

山梨県立美術館開館 40 周年記念 特別展

日仏交流160周年
160^e Anniversaire
des relations
franco-japonaises

Reims  

シャルル=フランソワ・ ドービニー

Charles-François Daubigny 展

バルビゾン派から印象派への架け橋



シャルル=フランソワ・ドービニー 《オプトゥヴォスの水門》
1856年 国内個人蔵

「印象派」の源流をたどる旅へ…

2018年10月20日(土)～12月16日(日)

開館時間 | 午前9時～午後5時(入館は午後4時30分まで)

休館日 | 10月22日(月)、29日(月)、11月5日(月)、12月(月)、19日(月)、26日(月)、12月3日(月)、10日(月)

観覧料 | 一般1,000(840)円、大学生500(420)円 ※11月20日 県民の日は無料

()内は20名以上の団体料金、前売料金、県内宿泊者割引料金 / 高校生以下の児童・生徒は無料(高校生は生徒手帳等持参)
県内65歳以上の方は無料(健康保険証等持参) 障害者手帳をご持参の方、およびその介護をされる方は無料
前売券は山梨県立美術館で9月28日(金)から10月19日(金)まで販売

主催 | 山梨県立美術館 テレビ山梨

特別協賛 |  甲府ビルサービス株式会社

後援 | 在日フランス大使館 アンスティチュ・フランセ日本 山梨日日新聞社・山梨放送 テレビ朝日甲府支局
朝日新聞甲府総局 毎日新聞甲府支局 読売新聞甲府支局 産経新聞甲府支局 共同通信社甲府支局
時事通信社甲府支局 山梨新報社 日本ネットワークサービス エフエム富士 エフエム甲府

協力 | AIRFRANCE  山梨交通株式会社

監修 | ランス美術館 Exposition produite et gérée par le Musée des Beaux-Arts de la VILLE DE REIMS

企画協力 | 株式会社プレントラスト



種をまく 世界がひらく

山梨県立美術館

Yamanashi Prefectural Museum of Art

〒400-0065 甲府市真川1-4-27 Tel.055-228-3322 Fax.055-228-3324
<http://www.art-museum.pref.yamanashi.jp/>
<https://www.facebook.com/yamanashi.artmuseum> (facebook)

ミレーと歩んだ40年
70点目のコレクションを今秋公開



ジャン=フランソワ・ミレー 《角笛を吹く牛飼い》制作年不詳 山梨県立美術館

山梨県立美術館開館40周年記念 新収蔵作品

ジャン=フランソワ・ミレー 《角笛を吹く牛飼い》

約100年ぶり
となる一般公開

2018年9月11日から

会場 | 山梨県立美術館 ミレー 館 (コレクション展A)

観覧料 | 一般510(420)円、大学生210(170)円

()内は20名以上の団体料金、県内宿泊者割引料金
高校生以下の児童・生徒は無料(高校生は生徒手帳等持参)
障害者手帳をご持参の方、およびその介護をされる方は無料
65歳以上の方は無料(健康保険証等持参)



交通のご案内

JR中央本線甲府駅より

- 甲府駅バスターミナル南口①番乗り場より御勤使・竜王駅経由数島営業所・大草経由韮崎駅・貴川団地各行きバスで約15分、「山梨県立美術館」下車
- タクシーで約15分。(料金1,700円程度)

中央自動車道甲府昭和インターより

- 料金所を昇仙峡・湯村方面へ出て200m先を左折、西条北交差点左折、アルプス通りを約2km直進、貴川交番前交差点を左折、国道52号を約1km左側



種をまく 世界がひろく

山梨県立美術館

Yamanashi Prefectural Museum of Art

〒400-0065 甲府市貴川1-4-27 Tel.055-228-3322 Fax.055-228-3324
http://www.art-museum.pref.yamanashi.jp/
https://www.facebook.com/yamanashi.artmuseum (facebook)

シャルル＝フランソワ・ドービニー

Charles-François Daubigny 展

バルビゾン派から印象派への架け橋

開館以来、山梨県立美術館では、身近な自然の美しさを主題として発表展示してきました。本展は、開館40周年記念特別展として、同派の画家(1817-1878)の画業を紹介する、国内初の展覧会となります。

大胆な筆遣い、そして時にパレットナイフを用いて表現されたドービニーに過ぎない「未完成」な作品として批評家たちから揶揄される一方、魅力を備えた写実主義の絵画として同時代から高い評価を得ました。

1857年以降は、アトリエを設えた船「ボタン号」で河川を旅しながらスタイルを確立します。水辺にきらめく光や、時刻とともに表情を変え始める経験を通して、瑞々しい魅力に溢れた作品が生み出されました。

また後年には、サロン(官展)の審査員として、後に印象派と呼ばれる若手画家を擁護したことも知られています。最晩年まで制作旅行を求め、表現し続けたその画業は、モネ、そしてゴッホからも敬愛を集めました。本展では、印象派の先駆と評されたドービニーの知られざる画業についてよりご紹介いたします。

画業最初期の大作



《聖ヒエロニムス》1840年
ピカルディ美術館、アミアン
© cliché Musée de Picardie / Irwin Leullier

写実主義の画家／評価の確立



《オプトゥヴォスの水門》1856年 国内個人蔵



《ボニエール近郊の村》1861年 国内個人蔵

アトリエ船で描く



a.



b.



c.

a. 《蒸気船》
b. 《アトリエ船》
c. 《飲み喰い》
以上、3点とも「船の旅」全16点より
1862年刊 山梨県立美術館

晩年の制作旅行



《ヴィレールヴィルの海岸》1870年 東京富士美術館



《山間の風景、コートレ》1873年 山寺後藤美術館



《ヴィレールヴィルの海岸、日没》制作年不詳 個人蔵



《ケリティ村の入口》1871年 ランス美術館
© Christian Devleeschauwer

特別出品 クロード・モネ

1897年 ひろしま美術館

水辺の連作で知られる印象派の画家クロード・モネは、ドービニーの先例に倣い、船上での制作を試みたことが知られています。本作品にみられる、移ろいゆく光や色彩への関心の源流として、ドービニーの画業は位置づけられます。

て表現したバルビゾン派の絵画を収集・
の画家シャルル=フランソワ・ドービニー

ドービニーの絵画は、「印象」を描いたもの
一方、眼前に広がる自然を喚起するような
した。

から、船上で制作をおこなう独自の制作
変える空といった移ろいゆく対象を見つ
た。

る若い画家たちに成功のきっかけを与え
旅行をおこない、自然との新たな出会いを
集めました。

展について、フランスと国内所蔵の作品に

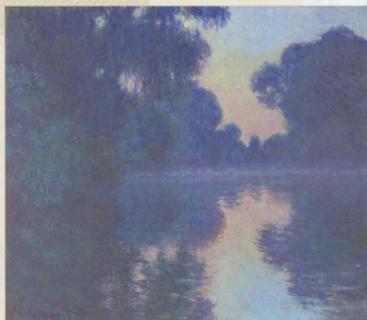


《ボタン号》1869年頃 個人蔵
© Archives Musées de Pontoise



《日の出、オワーズ河畔》1865年 リール美術館
Photo © RMN-Grand Palais / Thierry Le Mage / distributed by AMF

ネ 《セース河の朝》



関連イベント

大人のための美術講座 「写実」と「印象」： ドービニーの生涯と作品について

講師 | 担当学芸員
日時 | 11月10日(土) 午後1:30~2:00
場所 | 講堂 ※申し込み不要、聴講無料

担当学芸員によるギャラリー・トーク

日時 | 11月10日(土) 午後2:30~
場所 | 特別展示室
※申し込み不要、特別展チケットが必要です

展覧会開催記念特別コンサート 「歌で旅するドービニーの時代」

フランスを拠点に活躍する小林氏、棚田氏による特別コンサート。ドービニーによる挿絵が施されたフランスの民謡集、当時の美術批評家でもあったゴーティエの詩による歌曲の演奏など、ドービニー展の世界を音楽で旅するプログラムです。
出演 | 小林真理氏(メゾ・ソプラノ、ストラスブール音楽院教授)
棚田文紀氏(作曲家、ピアニスト)
日時 | 12月1日(土)
開場 | 午後1:00 公演 | 午後1:30~3:00(途中休憩10分)
場所 | 講堂 ※申し込み不要、鑑賞無料、定員120名

案内役の
カエルです



美術館に
来てね!

アニメーション作家、
城井文氏による書き
下ろしアニメーション
を展覧会場で放映。
ドービニーの生涯を
ご紹介いたします。

山梨県立美術館開館40周年記念 新収蔵作品

ジャン=フランソワ・ミレー 《角笛を吹く牛飼い》

約100年ぶりとなる一般公開
2018年9月11日から

会場 | 山梨県立美術館 ミレー館 (コレクション展A)

ミレー館(コレクション展A)では、自然と共にある人の営みを描き続けたバルビゾン派の画家ジャン=フランソワ・ミレーの作品を常時展示しています。開館40周年を迎える本年、70点目のミレー作品として《角笛を吹く牛飼い》が新たにコレクションに加わりました。長らく個人に所蔵されていた作品で、当館での公開が約100年ぶりの一般公開となります。特別展、そして各種イベントと併せて、この機会に是非お楽しみ下さい。



ジャン=フランソワ・ミレー
《角笛を吹く牛飼い》
制作年不詳 山梨県立美術館

こども美術館 集まれ! 「キラキラ」探検隊!!

光はどんな姿をしているでしょう。あなたならどんな風に表現しますか。芸術の森公園と展示室をめぐって、いろんな「キラキラ」を見つけてみよう!

日時 | 11月11日(日)
① 午前10:00~11:30 ② 午後1:30~3:00
対象 | 小学生・中学生(小学1~3年生は保護者同伴)
定員 | 各回保護者を含めて20名程度
場所 | ワークショップ室・特別展示室
申込期間 | 10月10日(水)~11月4日(日)
※参加無料、雨天決行。雨具をご持参下さい

「こども美術館」申込方法
FAXまたは電話にて以下の情報をお伝えください。
①参加希望時間 ②全員の氏名(付添の方も含む)
③年齢(学年) ④電話番号(FAX番号)
〈申込先〉山梨県立美術館「こども美術館」係
(開館日の午前9:00~午後5:00)
Tel. 055-228-3322 Fax. 055-228-3324

記念シンポジウム

ドービニーの画業を多角的に検討します。

日時 | 11月17日(土) 午後1:30~4:00(予定)
パネリスト | 三浦篤氏(東京大学教授)
高橋明也氏(三菱一号館美術館館長)
小泉順也氏(一橋大学准教授)
小坂井玲(当館学芸員)

場所 | 講堂
※申し込み不要、聴講無料、定員120名

山梨県立美術館開館40周年記念イベント

アートの種類まき茶会

① 秋の^{しじゅうの}四十賀茶会
美術館40歳の誕生日に、おもてなしと感謝の意味を込めて、芸術の森公園内の茶室「素心菴」にてお茶会を催します。アーティストによるインスタレーションや道具を鑑賞しながら、展覧会とはちょっと違う方法で美術を味わっていただけます。

開催日 | 11月3日(土・祝)・4日(日) ※11月4日は申込制です

② 誰もが主役のワークショップ
みんなでつくるお茶室&お茶会

茂井健司氏(造形作家)のインスタレーションに、みんなでお茶をえがいたりカットティングシートを貼って、お茶室を作ります。できあがったお茶室でお茶会を開催します。
ワークショップ 開催期間 | 12月4日(火)~8日(土)
お茶会 開催日 | 12月9日(日)、11日(火)

ワイン茶会

芸術の森公園内の茶室「素心菴」にて、作品鑑賞とあわせて、最近国内外で注目されている山梨県産ワインを堪能していただけます。
開催日 | 11月11日(日) ※先着15名、要参加費

歴代館長トークショー

当館の歴代館長3氏にお集まりいただくトークショーです。県美40年を振り返り、さまざまな経験と教訓をもとに、未来の美術館像について提言をいただきます。

開催日 | 11月20日(火)(県民の日)
登壇者 | 濱田隆氏(第3代館長)
島田紀夫氏(第4代館長)
白石和己氏(第5代館長)
司会 | 向山富士雄氏(南アルプス市立美術館館長)

この他にも、多数のイベントを開催いたします。
日時など、詳しくはHP、チラシをご参照ください。